

# 導水路巡り質問状

## 徳山ダム 市民団体 中部整備局に提出

徳山ダム(揖斐郡揖斐川町)の水を揖斐川から木曾・長良川に流す導水路事業で、総事業費が2・5倍の2270億円に膨らみ工事内容も変更されたのに市民



木曾川水系連絡導水路事業への公開質問状を提出する粕谷志郎さん(左) 12日午前10時3分、名古屋市中区、中部地方整備局

への説明が不十分として、岐阜・愛知県などの市民団体でつくる「よみがえれ長良川実行委員会」は12日、国土交通省中部地方整備局に公開質問状を提出した。

質問状は、①異常渇水時の補給という環境面の目的は1994年の渇水時の実態を反映していない②新規利水の供給が必要と乖離している③リニア中央新幹線工事で公共工事への不安が高まっている一などとして、公開の市民論議の場の設定や事業の中止・再検討の有無を質問した。今月30日までに回答するよう求め

ている。  
名古屋市中区の中部地方

整備局には実行委員会の10人が訪れ、後藤功次河川環境課長に公開質問状を提出。粕谷志郎共同代表(75)は「工事内容の変更、事業費は2・5倍と、もはや別

事業。環境アセスメントに相当するものをやり直すべきた」と話した。木曾川水系連絡導水路事業は、2008年に許可されながら、名古屋市の撤退

でいったん凍結された。昨年の河村たかし市長の容認を受け、東海3県の検討会などを経て国土交通省が先月27日、事業の継続を発表している。(堀尚人)

2024年9月13日岐阜新聞